



# さんが

第一〇四号

京都市伏見区淀新町六一八一

令和元年

TEL 〇七五-六三一-二二七二

西暦 二〇一九年

FAX 六三二-五七二五

歳末号

曹洞宗 東運寺

E-MAIL [sanga@tounji.net](mailto:sanga@tounji.net)

## 寒中お見舞い

### 申し上げます

## 玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

寺族 マヤ

妙子

忌中のため、来る新年のご挨拶を失礼させていただきます。

檀信徒皆さまより賜りましたご厚情に、深く感謝いたしますとともに、ご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

先般、東運寺十七世柳田泰明本葬儀に際しましては、お寒い中、ほんとうにたくさんの方にご会葬を頂き、厚くお礼申し上げます。生前中にお世話になりましたこと、重ねて深く感謝申し上げます。

東堂は昭和十年、大阪に生まれました。小学校三年生で父親を亡くし、空襲を避けるように、親戚の縁を頼って東運寺に入りました。十四才でお坊さんとなり、その後七十年、宗教者として生きる人生を送りました。

昭和三十五年に東運寺住職に就任し、法要と境内整備の責務はもちろん、PTA会長や自治会役員として、地域のために尽くしてまいりました。

その間、十六世住職よりの悲願であった庫裡の改築を平成十二年に果たし、平成二十一年には住職勤続五十年の表彰を受け、住職を退任し、東堂となりました。

その後も、檀信徒のみなさまには「東堂さん、東堂さ

ん」と、いつもお声掛けいただいたことは、私たち残された者の誇りであり、みなさまから頂戴したすばらしいご縁だと、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、東堂のいない東運寺となります。

今後はその遺訓を旨に、社会に貢献できるように精進いたします。東堂亡き後の東運寺を、お見守りくださいますよう、お願い申し上げます。



一月中、東堂を本堂内におまつりしていただきます。どうぞお上がりになって、お参り下さい。

## 団参に、行ってきました

今秋、十一月六日から七日にかけて、恒例の檀信徒参拝旅行に、四国まで行ってまいりました。

東運寺からは、住職をふくめ六名の参加。阿波の土柱、うだつの街並み、そして桂浜と、徳島から高知を縦断する旅でありました。

高知の宿では、やはりカツオのたたき。いっぱいの料理を堪能し、親睦を深めることができました。

二日目は、曹洞宗四国第一の道場である、新居浜市の瑞應寺へ。ご本尊さまと、ご参加くださったみなさまの、ご先祖さまにご供養申し上げます。

団参は毎年、秋の時期にあります。また、新しい方もふくめて、いろいろな皆さまとご一緒できるようお願いしています。



桂浜の坂本龍馬像。  
高知らしい風景です。

他の写真も、東運寺ホームページから、ご覧頂けます。



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→